

安全報告書(2018)

株式会社 ME リゾート但馬
氷ノ山国際スキー場

1. 利用者の皆様へ

当社の索道事業に対して、日頃よりご利用とご理解を賜り、誠にありがとうございます。

当社、株式会社 ME リゾート但馬は、「安全の確保」をその企業行動指針の第一として掲げすべての役職員は行動しており、皆様に安心してマウンテン・レジャーを楽しんで頂けるよう、法令遵守とともに安全輸送に努めております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、安全輸送の取り組みと実態について、広くご理解いただくために公表するものであります。皆さまからの声に耳を傾け輸送の安全に役立てたく、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

株式会社 ME リゾート但馬
代表取締役 一ノ本 智毅

2. 基本方針と目標

(1) 基本方針

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、代表取締役以下従業員に周知・徹底しております。

- 一致協力して輸送の安全の確保に努めること。
- 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し厳正、忠実に職務を遂行すること。
- 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
- 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをすること。
- 事故・災害が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとること。
- 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保すること。
- 常に問題意識を持ち、必要な改革に取り組むよう努めること。

(2) 安全目標

索道輸送安全目標(2018年)は次表のとおりです。今年度も索道運転事(人身傷害事故)の発生はなく、無事に終了することが出来ました。

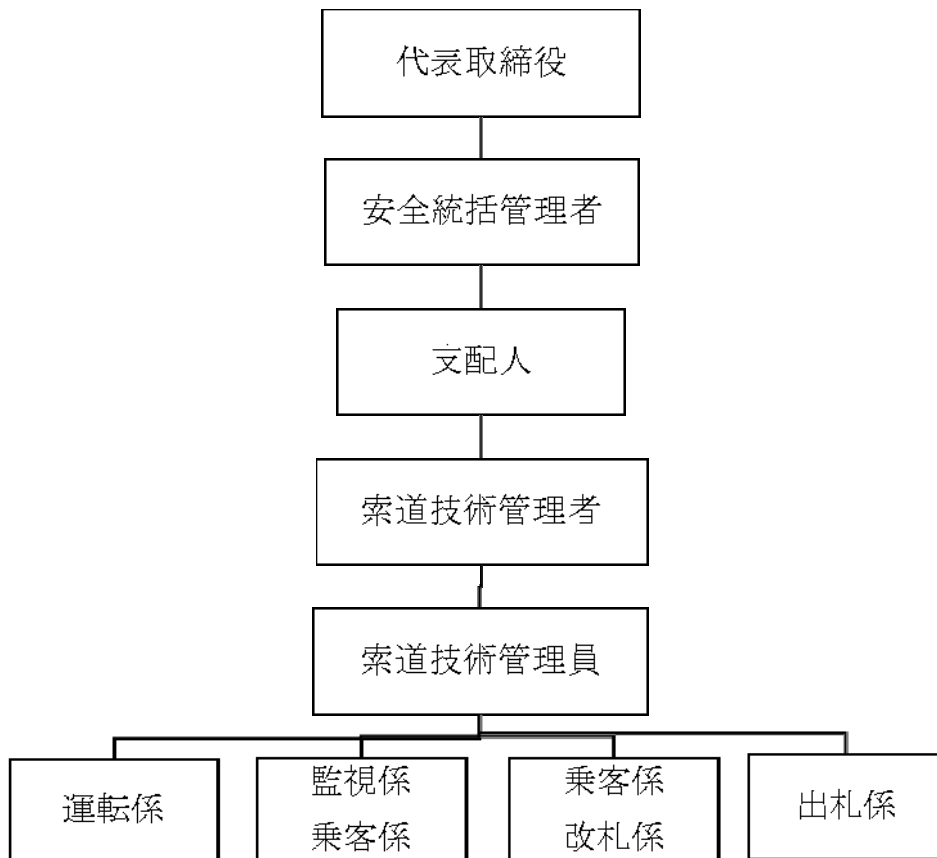
引き続き従業員一同、安全意識の向上を掲げ、目標達成に向けて取り組む所存です。

区分	項目	内容
定量的な目標	索道運転事故	発生件数0を目指す

3. 事故等の発生状況とその防止策

- ① 索道運転事故（索道人身傷害事故）
平成29年度において索道人身事故は起きていません。
- ② 災害（暴風雪・暴風・暴風雨・豪雪・地震など）
平成29年度において災害等はありませんでした。
(強風により運転を一時中断することはありませんでした。)
- ③ インシデント（事故が発生すると認められる事態）
平成29年度は、インシデント報告はありませんでした。

4. 氷ノ山国際スキー場 安全管理体制



5. 輸送の安全確保のための取り組み

①教育訓練

当社では、毎年シーズン開始前に安全教育と、救助訓練を実施しております。

②安全のための施設メンテナンス

平成29年度

- | | |
|-------------------|--|
| ・氷ノ山国際新ビギナーリフト | セーフティーバー取付
非常制動機油圧ユニット OH |
| ・氷ノ山国際旧ビギナーリフト | 塗装（原動滑車、緊張滑車、支柱）
電動機 OH
緊張滑車軸受交換 |
| ・氷ノ山国際パノラマトリプルリフト | 緊張油圧ユニット・シリンダーOH |
| ・氷ノ山国際ロマンスリフト | 緊張滑車ゴムライナー・軸受交換 |

6. 利用者の皆様へお願い

お客様にケガや事故のないように、安全にスノースポーツを楽しんでいただくために、ルール・マナーはもちろんのこと、場内の標示・標識等や係員の指示を守ってくださいますようお願いいたします。

また、リフト乗車中は、空き缶・空きペットボトルやゴミ等を投げ捨てないようにしてください。また、リフト乗車中の喫煙はご遠慮願います。

当スキー場に対するご意見は係員や下記までお寄せください。

〒667-1125

兵庫県養父市奈良尾509

株式会社MEリゾート但馬 氷ノ山国際スキー場

Tel: 079-667-7219

Mail: info@hyounosen.jp